

「コートジボワール国サンペドロ・マン送変電設備整備事業準備調査」の業務受託について

2025年10月21日

株式会社ニュージェック（以下、ニュージェック）は、独立行政法人国際協力機構（JICA）から、「コートジボワール国サンペドロ・マン送変電設備整備事業準備調査」にかかるコンサルティングサービス業務を受託し、本日、契約を締結いたしました。

コートジボワール共和国（以下、コートジボワール国）は、西アフリカ地域に位置する、日本の約6分の5の国土に、約3,193万人の人口を有する国です。基幹産業は農業で、農業に従事する人口は全体の約50%を占め、GDPの約20%、輸出の大部分を占める。同国政府は国家開発計画（2021-2025）の柱の一つ「経済構造転換の加速化のための産業集積」において経済・産業開発を重視し、国内への低コストで安定した電力供給を目標としている。また、西アフリカ14か国が加盟し国家間で電力を融通する仕組みである西アフリカパワープールにおいて融通される電力の21%を供給する等、同国は自国を地域のエネルギーハブとして位置付け、近隣諸国への電力輸出を促進している。

今後さらに、サンペドロ近郊のササンドラ川やカバラ川では2030年までに水力発電所6件の新設が計画されている。これにより、発電容量は2024年の約440MWから2030年には約1,200MWに拡大し、電力は北部や周辺諸国に送配電される予定である。一方で、既存の送電線は容量不足が予想され、電力損失削減を含む長距離送電の効率化が重要な課題となっている。

本調査において、ニュージェックは、コートジボワール中西部、北部及び近隣諸国への送電容量増加と送電効率向上を通じた電力供給の安定化を図り、コートジボワール国の経済・産業活動の活性化及び周辺国を含む地域住民の生活環境の改善に貢献するため、電力計画や電力設備の現状と課題について幅広く基礎情報を収集します。

今後、ニュージェックは、長年培った知見と技術力を活かし、コートジボワール国の電力セクターにかかる問題解決に貢献してまいります。

以上

別紙：

「コートジボワール国サンペドロ・マン送変電設備整備事業準備調査」における業務概要

「コートジボワール国サンペドロ・マン送変電設備整備事業準備調査」の概要

【業務の概要】

体 制：ニュージェック

対象地域：コートジボワール共和国 バ・ササンドラ県、モンターニュ県

期 間：2025年10月～2026年10月（約13ヶ月）

業務内容：（１）自然条件調査、現地条件調査、環境社会配慮に係る調査等
（２）概略設計
（①架空送電設計②変電設備設計③電力系統計画等）
（３）関係者との協議および調査内容の共有

位置関係：



アフリカ大陸概要図とコートジボワール共和国

【弊社の概要】

◇株式会社ニュージェック

代 表 者：代表取締役社長 山林 佳弘

設 立：1963年

所 在 地：大阪市北区本庄東2-3-20

事業内容(海外)：土木事業、電力事業における調査、設計、工事監理 等